

川上ダム通信

2012
12
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> [✉ somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

桐ヶ丘フェスタ2012

11月10日(土)に、桐ヶ丘3丁目において「桐ヶ丘フェスタ2012」が開催されました。

当日は終始好天に恵まれ、青山中学校吹奏楽部の演奏、伊賀市のゆるキャラ「いが☆グリオ」君と「はいく」ちゃんによるパフォーマンスや桐ヶ丘音頭等のアトラクションが次々に行われ、また、朝市やフリーマーケット等もあって、会場全体で大変な賑わいとなりました。



にぎわう川上ダムブース(手前が石琴です。)

当建設所は、「ダムの役割」、「動植物の保護」や「付替道路工事」といった説明用パネルを掲示したブースを企業コーナーに出展させていただきました。

ブースでは川上ダムの仮排水路トンネル工事の過程で岩盤から棒状に掘り出した岩片で製作した「石琴」も展示しました。「石琴」は円柱棒状の石を木製の台の上に縦に寝かせて並べたもので、マレット(※)で叩くと石の長短により音階が分かります。山の深部から掘り出される石はなかなか手に入るものではなく、ブースを訪れた子供たちにはこの珍しい「石琴」を弾いて遊んでもらい大変喜んでいただきました。こうした楽しい体験を通じて、水の知識や川上ダムについてより深く知っていただくことができました。

この「石琴」は川上ダム建設所の入口ロビーに展示してありますので、興味のある方は是非遊びに来ていただきたいと思います。

【第一用地課 安田直人】

※マレット：木琴や鉄琴を叩く細長い柄の先に、球形のヘッドがついているパチのこと。

第8回ふれあいフェスタ in 青山

10月27日(土)に、青山ハーモニーフォレストにおいて、伊賀市や青山地域の住民自治協議会などで構成された実行委員会が主催する「第8回ふれあいフェスタ in 青山」が開催され、地元農産物の販売、和太鼓演奏、幼児によるお遊戯などがステージで行われ、大変盛り上がりしました。

当建設所では、川上ダムの事業内容や洪水調節、工事進捗状況、オオサンショウウオに関するパネルや模型の展示及びオオサンショウウオが遡上する様子を記録したビデオの上映等を行いました。



オオサンショウウオに興味津々の子供たち

機構ブースにお越しいただいた方々からは、付替県道工事の進捗状況やオオサンショウウオについて熱心にご質問をいただきました。

当建設所では、今後もこうした地域のイベントに積極的に参加し、川上ダム建設事業へのご理解を深めていただきたいと思います。

【環境課 笹原智弘】

青山美杉線の工事進捗状況

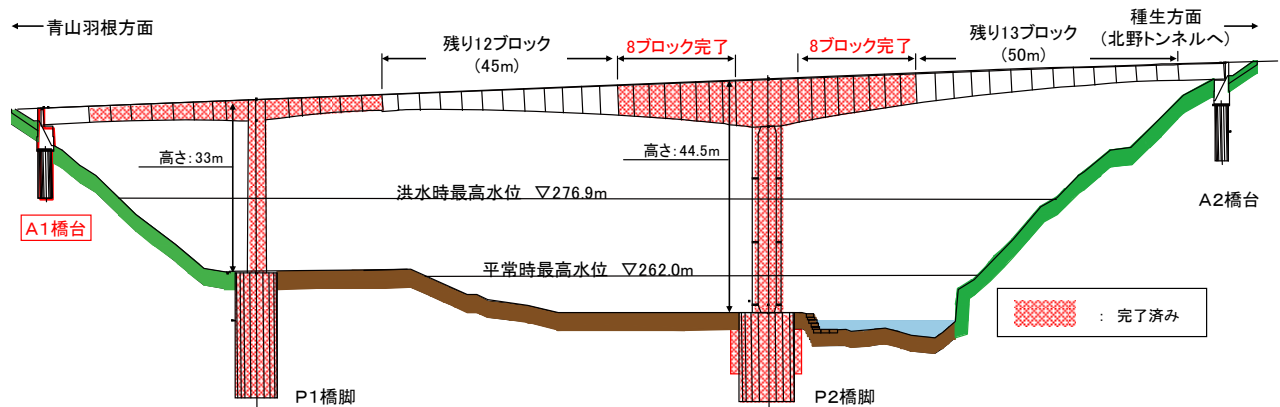
貯水池横断橋工事

貯水池横断橋のP2橋脚は、現在、8ブロックまでの施工を完了し、9ブロック目の施工にとりかかっています。

また、P1橋脚側のA1橋台は、掘削作業を実施しています。

貯水池横断橋(猫また大橋)工事 進捗状況図

平成24年11月22日現在



技術者のたまご 現場見学にやってきました!

これからの社会を担う若い皆さんに建設業に対する理解を深めていただくとともにイメージアップを図り、入職を促進することを目的とした三重県建設業協会主催の「高校生建設現場見学会」が行われ、11月2日(金)には三重県立伊賀白鳳高等学校、11月22日(木)には近畿大学工業高等専門学校の学生の皆さんに当建設現場を訪れていただきました。

見学会当日は、既に完成している仮排水路トンネルや貯水池横断橋の建設現場を見学していただきました。特に貯水池横断橋の建設現場では、普段は目にする機会が少ない高さ45mにも達する橋脚を間近に見て、学生の皆さんからはそのスケールの大きさに感嘆の声が上がっていました。

今回の見学会は、建設系学科の学生の皆さんということもあり、橋の構造や施工に関する専門的な質問も多く、説明に熱心に耳を傾ける様子が印象的でした。

今回の見学会が未来の土木を担う人材育成の一助になれば幸いです。

【工務課 田中英晶】



橋梁の大きさに驚く学生(白鳳高校)

ちびっこたち 環境を学ぶ♪

川上ダム建設所では、地域の未来を担う子供たちを対象に学習会を開催しています。

～出前講座 10月24日(水) 伊賀市立大山田小学校3年生46名～

大山田小学校の教室をお借りして水の大切さや環境保全の取り組みについて学んでいただいた後、当建設所の施設から持参したオオサンショウウオを観察してもらいました。子供たちは初めて見るオオサンショウウオの姿に夢中になっていました。

～水の調査隊 10月26日(金)・29日(月) 伊賀市立府中小学校1年生26名、2年生28名～

当建設所のふれあいホールでオオサンショウウオの生態等について勉強してもらった後、仮排水路トンネルとオオサンショウウオ保護池に行きました。

子供たちは、普段見る機会が少ない工事現場やオオサンショウウオを熱心に見学していました。今後も水の大切さや環境などについて楽しく学べる機会を提供していきたいと考えています。

【総務課 湯本洋】



オオサンショウウオに
夢中になる子供たち
(大山田小学校)



仮排水路トンネル内を探検
(府中小学校)



保護池でオオサンショウウオを観察
(府中小学校)

オオサンショウウオを救出

10月26日(金)の夕方、ダム予定地の上流にお住まいの方から「オオサンショウウオがマスに迷い込んでいる。なんとか助けてやってくれ」と連絡が入りました。環境課職員と3名で現地へ急行すると、体長60cmを超えるオオサンショウウオが深さ1.5mほどの排水マスの底で身動きがとれなくなっていました。



無事に前深瀬川に放流。難を逃れたオオサンショウウオ

環境課職員の見立てでは、痩せている様子。連絡を下さった方も「数日前からここに迷い込んでいる」とのこと。さっそく一人がマスの底へ降りてオオサンショウウオを救出したところ、思ったよりは元気な様子。すぐに側の前深瀬川へ放流し、オオサンショウウオは難を逃れました。



マスに迷い込んだオオサンショウウオ

【調査設計課 金山明広】

※ オオサンショウウオは国の特別天然記念物ですので通常は触ることは許されていません。今回の救出については、伊賀市教育委員会へ連絡済みです。

< 今月掲載を予定していた「環境用語集」は次号に掲載します。 >

あ お は ね 阿保・羽根・川上の歴史探訪

第4回 大村神社の秋祭り ～獅子舞とナマズの花車が町中を巡りました～

11月3日(土)の大村神社の秋祭りでの獅子舞とは、神社に奉納する獅子神楽のことで、藤堂の殿様が上野城を治めるようになった頃から、悪魔払、厄除獅子として、伊賀の国中を巡奉させるようになりました。

江戸時代の中頃から、阿保の6村(阿保、羽根、別府、寺脇、岡田、柏尾。明治22年に合併し阿保村となる)では、それぞれ華やかな獅子舞が祭りの行事として喜ばれていました。しかし、最近の旧青山町内では若い衆の不足などで獅子舞ができなくなる区が多くなり、今では阿保の東部区と西部区だけになりました。両区とも小学生や中学生の加勢によって立派な獅子舞ができ、お祭りを盛り上げています。

さて、お祭りを盛り上げるものとしては、獅子舞以外にもナマズの花車があります。大村神社に鎮座する地震除けの神様『要石』の前に並んだ石のナマズを大きくした大ナマズを花車に乗せ、御輿とともに阿保の町を練り歩き、観衆を喜ばせています。

”地震、カミナリ、火事、親父”この4つは昔から怖いものの代表とされてきましたが、この頃は地震の恐ろしさが際立ってきました。東北の大地震とそれに伴う津波の恐怖はいつまでも忘れられません。

今を去ること158年前、安政の伊賀上野大地震の時には、伊賀の上野で死者約600名、家屋の全壊約2,000戸という惨状でしたが、この要石の御霊験によって、阿保地区だけは不思議と難を免れたといわれています。大村神社には「ゆらぐとも、よもやぬけまじ要石、大村神のあらんかぎりは」と立札が立てられ、社務所では地震除災のお守りがいただけます。

花車に乗った大ナマズは、どんな揺れにもビクともしない要石のお供として、地震の災禍から守ってくれる有り難いナマズです。

【松本仁志】



石のナマズ

大村神社の要石社
(要石は中央の社殿内に鎮座)



獅子と鼻高(天狗の面)



ナマズ花車

イベントのお知らせ

このしろまつり

五穀豊穡や家内安全などを祈願するもので毎年12月10日に開催されます。

当番の家が事前にこのしろを買い、1尾に1合の割合で米を炊き、このしろの腹に詰めて袖の葉1段とこのしろ1段ずつ桶に詰め、玄米一俵を重しとして当日まで押しおきます。こうしてきたこのしろの熟れ寿司を祭りで氏子に配ります。

※このしろとは、ニシン目ニシン科の魚のことで成長とともに名前が変わる出世魚です。

開催日: 12月10日(月) 14:00から
開催場所: 佐々神社(伊賀市音羽)

編集後記

今年も残すところあと1ヶ月となりました。早いものですね。

これから更に寒さが厳しくなりますが、風邪などひかず、元気に年末を乗り切りましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)
デスク 大友(総務課長) 田中(工務課長)
編集者 金山(調査設計課)
記者 湯本(総務課) 松高(第二用地課)
本田(調査設計課) 笹原(環境課)
廣瀬(工事課)



ISO14001: 2004
JQA-EM5769

○川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索

○ご意見・ご感想はこちらへ somu1@lily.ocn.ne.jp